

第1回から第3回までのまとめ

☆ 第1回検討委員会

- (1) 開催日時 令和2年9月24日(木) 午後3時～午後4時30分
 (2) 開催場所 砺波市役所 3階 大ホール
 (3) 内 容 市内の小中学校の配置状況、学級数、児童生徒数について等説明

【主な意見等】

- ・年少人口の減少が顕著である。
- ・各校の通学区域は見直せないものではない。
- ・学校は地域の防災拠点の役割も担っている。

☆ 第2回検討委員会

- (1) 開催日時 令和2年11月26日(木) 午後1時30分～午後4時40分
 (2) 開催場所 砺波市役所 東別館会議室、鷹栖小学校、砺波東部小学校
 (3) 内 容 市内小学校の状況視察(小規模校、適正規模校)

小規模校	適正規模校
<ul style="list-style-type: none"> ○教師の目が届きやすい。 ●競争力の低下 ●1つの学年を1人が担当 ●校務分掌が多い。 ●人間関係の固定化が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ●小規模校に比べると目が届きにくい ○複数の教員で学校行事や授業等について相談できる。 ○校務分掌を手分けできる。 ○若手、中堅、ベテランの教員がおり、それぞれの良さを生かせる。 ○いろんな仲間がいる。人間関係がうまくいかないときクラス編成で考慮できる。 ●集会等の移動に時間がかかる。 ○学ぶ環境としては適正と感じた。
<ul style="list-style-type: none"> ○1クラス25人程度がよいのでは。(10数人では少ない、30人以上多い) ○特色ある学校づくり等、地域に子供を誘導できるような環境を柔軟につくる必要がある。 	

☆ 第3回検討委員会

- (1) 開催日時 令和3年2月2日(火) 午後2時15分～午後5時15分
 (2) 開催場所 砺波市役所 東別館会議室、庄川中学校、出町中学校
 (3) 内 容 市内中学校の状況視察(小規模校、適正規模校)

小規模校	適正規模校
<ul style="list-style-type: none"> ●すべての教科の教員の配置ができない。 ●部活動の種類が限られる。 ●部活動の顧問の充足ができない。 ○●小学校からの人間関係が引き継がれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい人間関係が生まれる。 ○中学校でのリスタートができやすい。 ○適正な規模なのかと感じた。
<ul style="list-style-type: none"> ○中学校に入ったときに生徒がチェンジできる環境づくりが大切。 ○学校と地域との連携が必要。 	